

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報28

2010・3

泉大津市教育委員会



例　　言

1. 本調査概報は、泉大津市教育委員会が市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、開発行為に先立って実施した発掘調査報告である。
2. 本調査は、国庫補助事業（補助対象経費1,030,000円、国庫補助率50%・市負担率50%）として泉大津市が計画・実施したものである。
3. 本事業は平成21年度事業として、平成21年4月1日に着手し、平成22年3月31日に完了した。
4. 本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者　泉大津市教育委員会教育長 中井　謙　(平成21年11月11日まで)
道口　源一　(平成21年11月12日から)

事務局　泉大津市教育委員会事務局 生涯学習課

担当者　生涯学習課長：和田 安広

生涯学習課 文化財係：虎間 麻実 村田 文幸 上江 文子 (嘱託)

外業調査員：農島 亨志 内業調査補助員：野田 由恵 藤木 札子

5. 本書の座標は世界溝地系を使用している。

6. 出土品および原図・写真類は、泉大津市教育委員会事務局が保管している。

7. 本書の執筆、編集は虎間、上江が行った。

目　　次

第1章 泉大津市と埋蔵文化財調査の状況

1. 泉大津市の位置と環境	2
2. 埋蔵文化財調査の現状	2

第2章 発掘調査結果

1. 池上曾根遺跡	2009-01	4
	2009-05	5
	2009-06	5
	2009-15	7
2. 虫取遺跡	2009-02	8
	2009-03	8
	2009-04	9
	2009-07	10
	2009-08	10
3. 板原遺跡	2009-09	12
4. 池浦遺跡	2009-10	12
	2009-11	13
	2009-12	13
5. 農中遺跡	2009-13	15
	2009-14	15
出土遺物実測図・遺物観察表・出土遺物写真・発掘調査概報抄録	17～20

第1章 泉大津市と埋蔵文化財調査の状況

1. 泉大津市の位置と環境

泉大津市は大阪府南部の泉州地域に位置する。北部・東部は高石市と和泉市、南部は大津川を境として泉州北郡忠岡町と隣接している。泉州地域東部には、大阪湾に沿って東西に和泉山脈が連なる。その山脈を源として幾多の河川が北に走行し、大阪湾に注ぐ。これらの河川はそれぞれ開析谷、河岸段丘を形成し、その両側には丘陵地形が南北方向に発達している。その丘陵より北側は平坦で狭小な沖積地が形成されているが、泉大津市はこの沖積地上に立地しており、市域の標高は20m未満である。

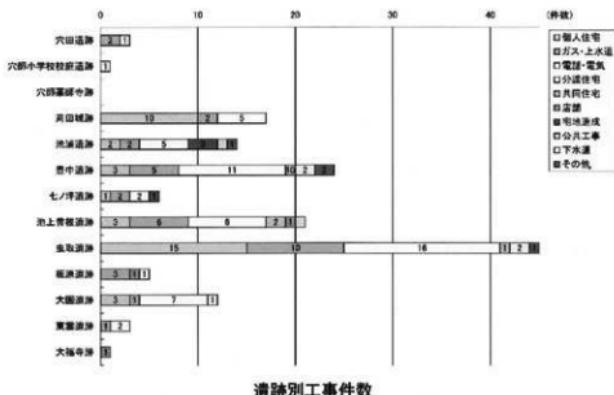
泉大津市は面積12.95km²、うち約4.2km²が公有水面の埋立地である。人口77,788人（平成22年2月1日現在）、東西5.4km、南北5.5kmにわたる都市である。昭和40年頃から開発が進み、現在は市域全域が市街地化されている。市域は大阪湾に面した臨海部の工業地域、南海本線から阪和線にかけての住居地域と商工業地域が混在する地域、国道26号周辺の商業地域に大きく分けることができる。住居地域には、助松の糸州街道沿いと泉穴師神社周辺にそれぞれ風致地区を設けている。近年、臨海部の高層住宅や織維工場跡地への分譲住宅の建設が進み、市の景観の変化は著しい。いわゆるバブル景気崩壊以後、大規模開発は下火になっているものの、古い民家の取り壊しや建替えなどが進み、町並みにも大きな変化が見られる。

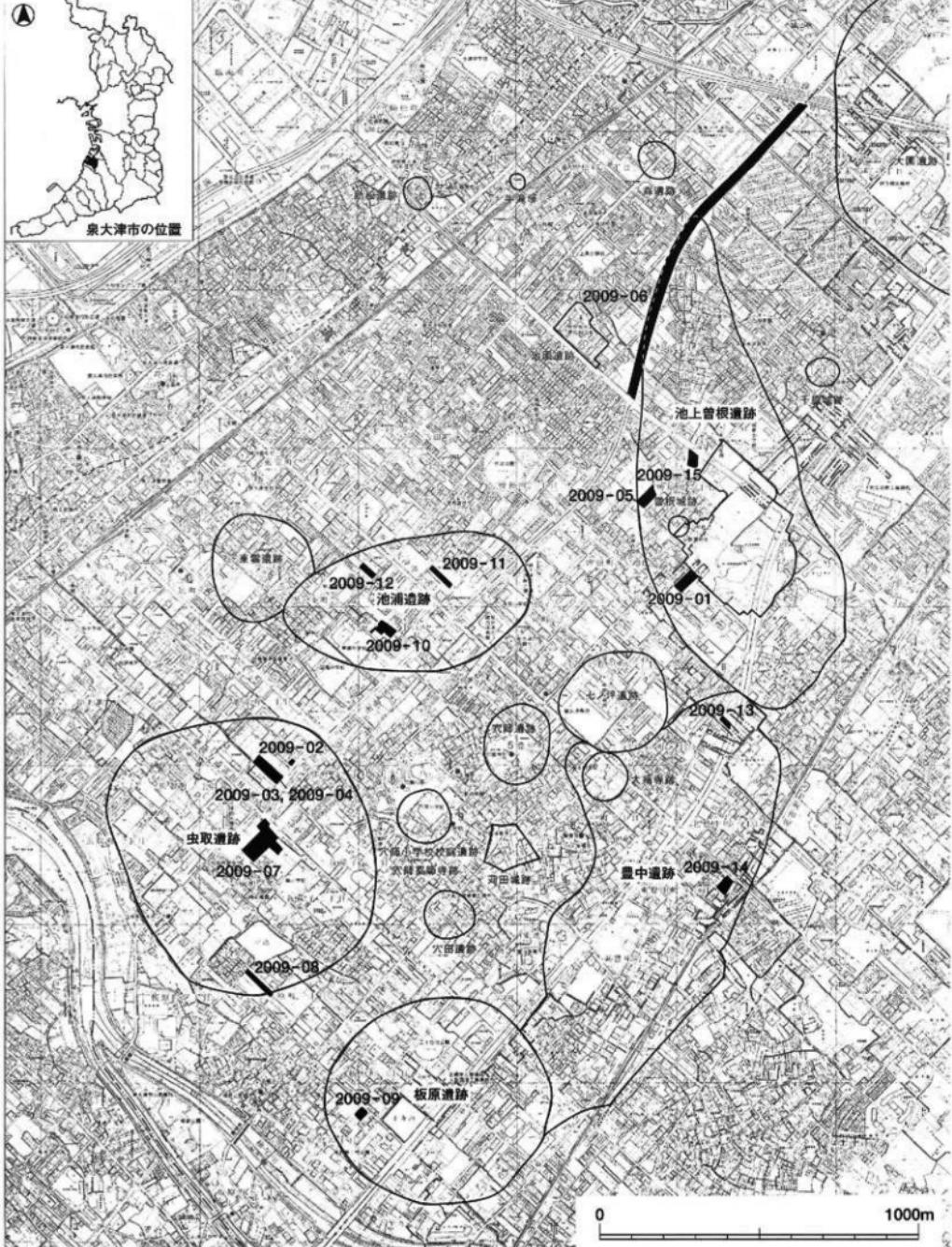
2. 埋蔵文化財調査の現状

本概報は、平成21年1月～12月の期間に埋蔵文化財発掘届の提出があり、そのうち国庫補助事業により発掘調査を実施したものを対象とする。当該期間内の埋蔵文化財届出数は152件、延べ155遺跡で、うち15件を国庫補助事業として発掘調査を行った。

下図は、遺跡別工事件数の内訳のグラフである。遺跡別に届出件数をみると、虫取遺跡、豊中遺跡、池上曾根遺跡、菟田城跡の順で多い。総届出件数に占める工事内容で最も多いのは分譲住宅（58件）で37%、次いで個人住宅（37件）23%、ガス・上水道（35件）で22%を占める。織維工場跡地や田畠等、比較的広面積の土地を戸建住宅地へと再開発する傾向が伺える。

本概報で報告する調査は、豊中遺跡2件、池上曾根遺跡4件、虫取遺跡5件、板原遺跡1件、池浦遺跡3件の合計15件である。いずれも建物基礎掘削深度、もしくは下水道管渠埋設のための掘削深度が遺構面を損壊する可能性があるため、着工前の試掘確認調査を行ったものである。





第1図 発掘調査地点（市内遺跡分布図 1 / 7000）

第2章 発掘調査結果

1. 池上曾根遺跡

池上曾根遺跡は、本市曾根町と和泉市池上町に所在する。遺跡面積は約105ヘクタールで、このうち約11.5ヘクタールが国指定史跡となり、中心部の3.5ヘクタールが第一期整備を経て池上曾根史跡公園となっている。

本年度は4件の調査を実施した。2009-01地点は、平成17年度調査で国道26号調査時の第1環濠、第2環濠の延伸が断面で確認された箇所の西隣にあたる。

2009-06地点は、道路建設に先立つ調査で、概要是別途報告するものであるが中世の鋤溝を検出した。今後は周辺部の開発が増加すると予想される。本年度調査では、遺構・遺物の検出がなかった箇所もあるが、史跡地西縁辺部の一端を明らかにできたものもある。

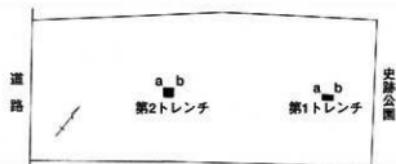
2009-01 (泉大津市豊中町894 平成21年2月23日)

調査 調査面積6.5m²

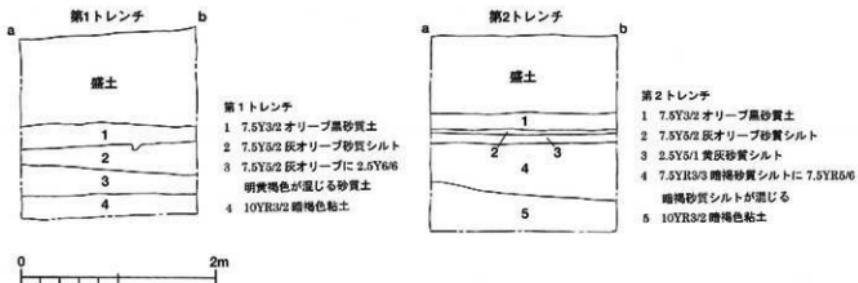
宅地造成に伴う調査である。池上曾根史跡公園に隣接する地で、南側環濠の存在が想定される。第1トレンチ(幅1.6m、長さ1.8m)、と第2トレンチ(幅1.9m、長さ1.9m)を設定し、現地表面より深さ1.5m以下で弥生時代の包含層(暗褐色粘土)を確認した。弥生時代中期の遺物を主としてコンテナ2箱分の遺物が出土した(17ページ第16図1~8)。

工事による掘削は弥生時代の遺構面には及ばないことが確認できたので、土層断面の観察、写真撮影を行った後、埋め戻して調査終了とした。

なお、当該地は和泉市との境界地にあたるため両市で協議を行い、和泉市教育委員会が環濠の確認調査を行った結果、2005-03地点で確認された第1環濠の北肩を確認した。



第2トレンチ



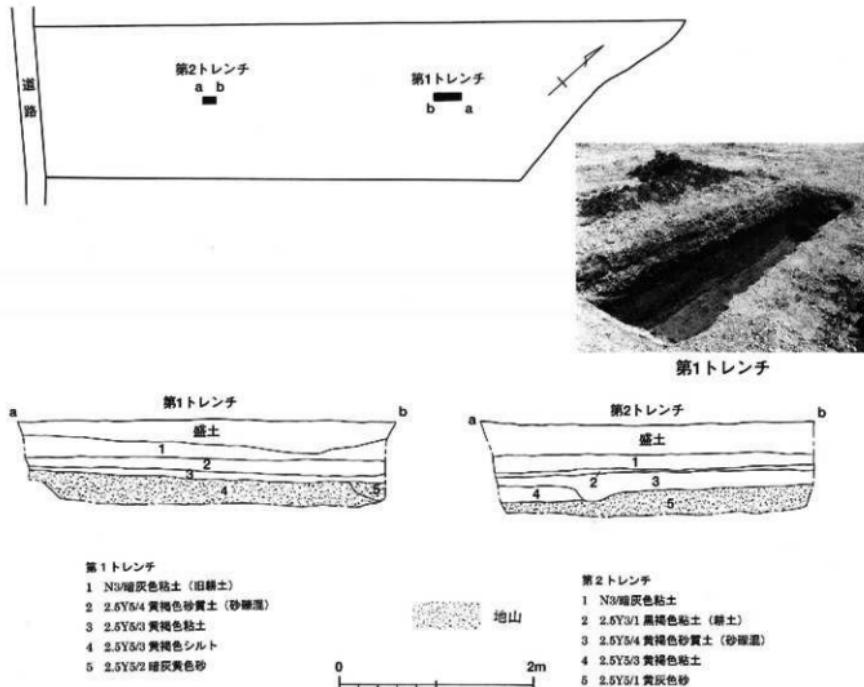
2009-05 (泉大津市曾根町1-138、139各一部 平成21年5月20日調査 調査面積7.3m²)

宅地造成に伴う調査である。池上曾根遺跡の中央西端にある。第1トレンチ（幅1.2m、長さ4.2m）、と第2トレンチ（幅1.2m、長さ1.9m）を設定し、現地表面より約90cm掘削した。深さ約50cmで黄褐色土の中世包含層が見られ、60~70cmで地山となる。遺構は認められないが、中世包含層及び地山直上の土層から弥生土器、土師器、須恵器が出土した（17ページ 第16図11~13）。

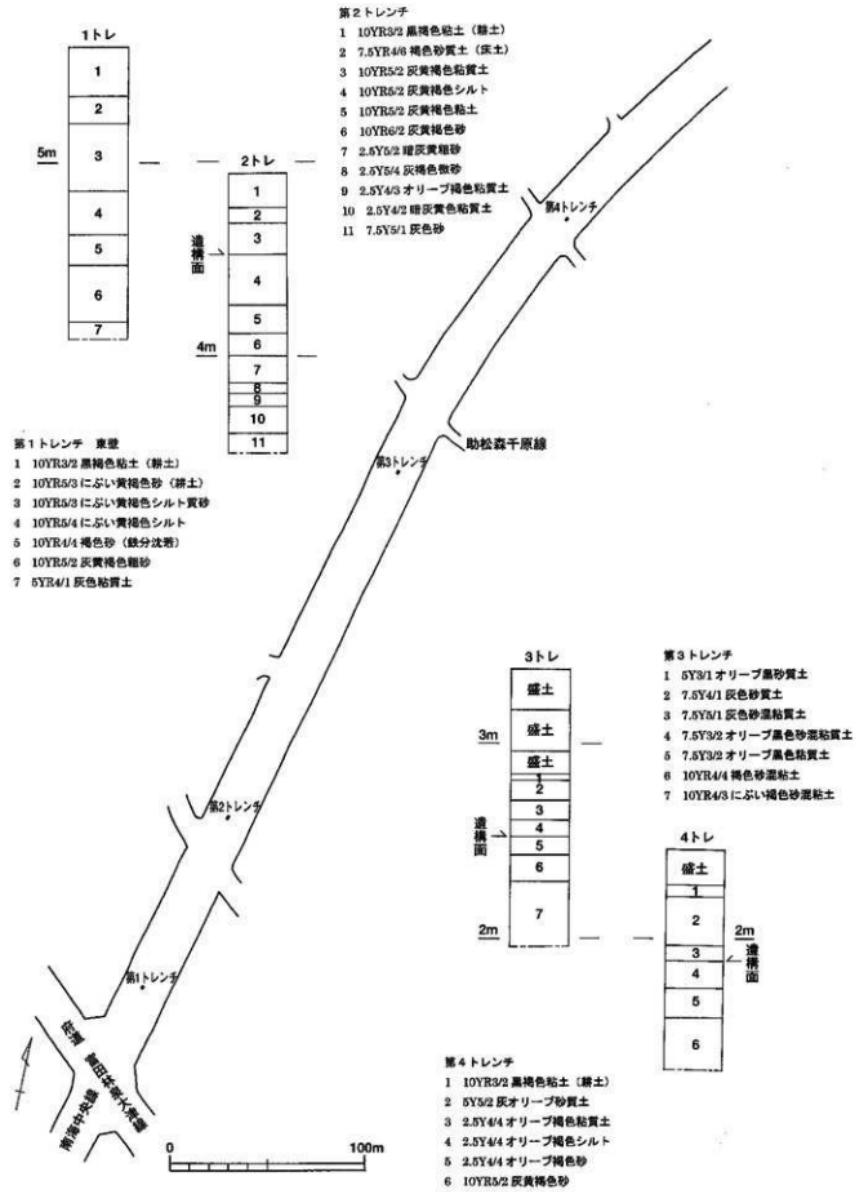
2009-06 (泉大津市森町1丁目2丁目及び東助松町2丁目地内 平成21年5月27日調査 調査面積12m²)

都市計画道路南海中央線建設に伴う調査である。池上曾根遺跡の北西縁辺部にある。昨年度は道路擁壁部分の調査を行ったが、今年度、道路部分の調査を行うにあたって、土層の状況を把握するために坪掘りによる先行調査を行った。調査可能な場所に幅1.5m、長さ2mのトレンチを4箇所設定し、土層断面の観察を行った結果、第2、3、4トレンチで中世包含層及び遺構検出面を確認した。

この調査結果を受けて、試掘調査を行ったところ、中世14~15世紀にかけての耕作溝を確認した（『都市計画道路南海中央線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報』泉大津市教育委員会2010）。



第3図 2009-05 トレンチ位置 (1/750)・土層断面図 (1/50)



第4図 2009-06 トレチ位置 (1/2500)・土層柱状図 (1/25)

2009-15 (泉大津市曾根町1丁目98-1、99-1、100-1、402-8 平成21年12月24日調査 調査面積13.3m²)

店舗建設に伴う調査である。史跡指定地の北西に近接する。2箇所にトレーニングを設定し、調査を行った。

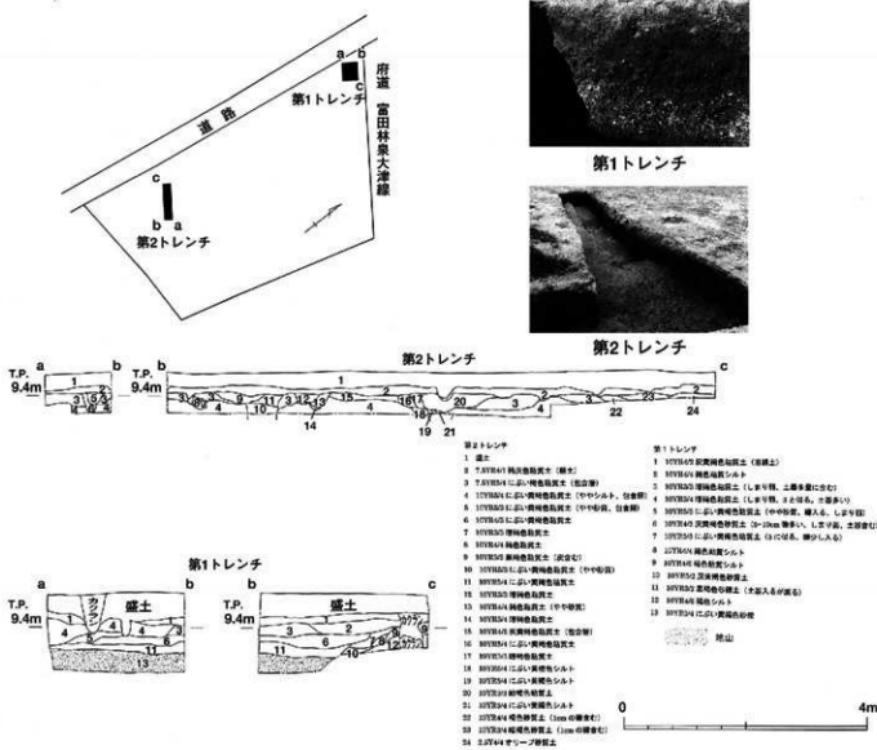
第1トレーニングは看板設置箇所の幅2.4m、長さ2.8mで面積は6.7m²である。掘削を開始して間もなく、地表下約60~70cmで古墳時代初頭の古式土器がまとまって出土した。これらの遺物を検出した層は、直径5~10cmの小疊を多く含み、しまりの弱い暗褐色粘質土等である。トレーニング北壁断面を観察すると、西へ向かって土層が下降する様子が伺える。遺

構としては認められなかったが、自然地形の落ち込み部分に、土器群が一度に運ばれて埋まつた状況が見てとれた。

土器の遺存状態は良好で、厚さ30~40cmの層からコンテナに2箱分もの一括遺物が得られた。

第2トレーニングは店舗建物が建設される箇所に設定した。幅1.1m、長さ6mを掘削したところ、地表下約40cmで中世の遺構面を確認し、円形の柱穴、溝などの遺構と共に遺物が出土したため、さらに範囲を拡張して調査をする必要性があると判断した。

この後、遺構面を損壊する可能性のある建物基礎部分の調査を実施することとした。なおこの調査結果については、別途報告する予定である。



第5図 2009-15 トレーニング位置 (1/800)・土層断面図 (1/80)

2. 虫取遺跡

虫取遺跡は、池上曾根遺跡に次ぐ面積を有する遺跡である。市内においては、耕作地が比較的多く残る地域であり、近年は開発が進む地域である。本年度は4件の調査を実施した。宅地造成の2件は、地元企業の工場、倉庫の跡地の再開発である。いずれも遺構の存在が想定されたが、既に削平されており、包含層を部分的に確認することとなった。

2009-02 (東大津市池浦町1-30-9 平成21年3月19日調査 調査面積4.5m²)

共同住宅建設に伴う調査である。虫取遺跡の北東部に位置する。幅1.5m、長さ3mのトレンチを設定し、現地表面より1.2m掘削を行った。現地表面より約55cmの盛土の下には旧耕土、床土が見られるが、遺構や包含層等は認められず、遺物も確認されなかった。

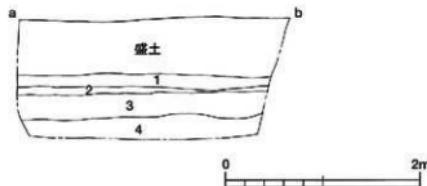
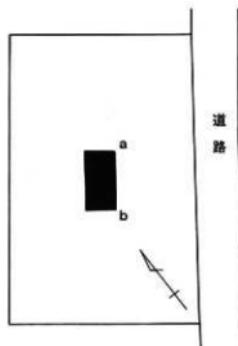
2009-03 (東大津市池浦町1丁目262、263-1 平成21年4月28、30日調査 調査面積27.3m²)

宅地造成に伴う調査である。虫取遺跡の北部に位置する。申請地内に北から順に3箇所のトレンチを設定した。

第1トレンチ（幅2m、長さ3.2m）、第3トレンチ（幅2.3m、長さ4.3m）では40~60cmの盛土の下に、近世以降の耕作土が堆積するが、遺構や遺物は確認できなかった。

第2トレンチ（幅2.3m、長さ4.8m）では厚い部分で約100cmの盛土がなされ、その下層には中世の耕作土が確認できる。中世耕作土の直下で、弥生時代中期の遺物を含む自然流路跡が認められた。流路は幅2.1m以上、深さ40cm程の規模で、ほぼ南北方向を指向する。この他、流路跡より上面で弥生土器（17ページ 第16図10）を含むブロック状の黒褐色粘質土層が見られたが、これは後世の搅乱により元の位置を留めていないものと考えられた。

周辺に弥生時代の集落の存在が伺える結果であった。



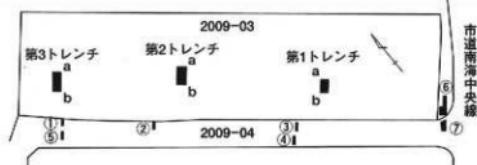
- 1 10YR4/1 黄灰色シルト（耕土）
- 2 2.5Y5/1 黄灰色シルト（床土）
- 3 7.5Y5/6 明褐色砂質土（3~4cmの小礫を多く含む）
- 4 5Y4/2 灰オリーブ砂質土（2~3cmの小礫を多く含む）

第6図 2009-02 トレンチ位置 (1/250)・土層断面図 (1/50)

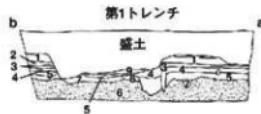
2009-04 (泉大津市虫取町1丁目4-16から池浦町1
丁目22-26 平成21年5月8、9日調査 調査面積
5.2m²)

先述の2009-03地点の前面道路におけるガス管理
設工事に先立つ調査である。

7箇所で土層断面の観察を行った。一部に近世の
耕作土を確認できる箇所もあるが、既設管による擾
乱層がほとんどで、遺構や遺物は認められなかっ
たため、断面観察と写真撮影を行い調査終了とした。



第2トレンチ



第1トレンチ

- 1 10YR5/4 暗褐色地質 (盛土)
- 2 10YR5/4 暗褐色地質 (盛土) が重じる
- 3 10YR5/4 黄褐色地質 (盛土)
- 4 10YR5/4 暗褐色地質 (盛土)
- 5 10YR5/4 1-2cm 周期性粘土 (シングル粘土)
- 6 10YR5/4 粘土地質シルト
- 7 10YR5/4 暗褐色地質
- 8 10YR5/4 暗褐色地質
- 9 10YR5/4 暗褐色地質 (盛土)



第2トレンチ

- 1 10YR5/4 暗褐色地質
- 2 10YR5/4 (2-5cm) 暗褐色地質
- 3 10YR5/4 (2-5cm) 暗褐色地質 (1cm 以下の小粒度)
- 4 10YR5/4 (2-5cm) 暗褐色地質 (3-5cm の小粒度)
- 5 10YR5/4 (2-5cm) 暗褐色地質
- 6 10YR5/4 暗褐色地質
- 7 10YR5/4 暗褐色地質シルト
- 8 10YR5/4 暗褐色地質
- 9 2.275/3 暗褐色地質 (砂礫層)



第3トレンチ

- 1 10YR5/4 に含む埋没化粘土
- 2 10YR5/2 暗褐色地質
- 3 10YR5/4 暗褐色地質
- 4 10YR5/4 暗褐色地質
- 5 10YR5/4 上に含む埋没化粘土
- 6 10YR5/4 暗褐色地質

堆山

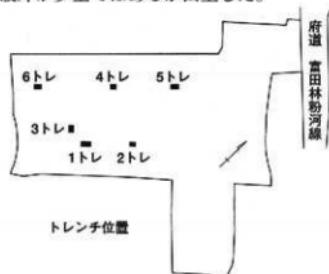
0 4m

第7図 2009-03・04 トレンチ位置 (1/1200)・土層断面図 (1/80)

2009-07 (泉大津市我孫子2丁目33、34、37-3、
227、228、229、234-1、428-2及び水路 平成
21年6月2日調査 調査面積36m²)

宅地造成に伴う調査である。虫取遺跡の中央部に位置し、南海倉庫跡地にあたる。道路敷設予定範囲に6箇所のトレーニングを設定し、各トレーニングとも1.2~1.3mの深さで掘削を行った。既設建物による搅乱が著しく、東側の第1~第3トレーニングは搅乱層のみであったが、西側の第4~第6トレーニングでは土層断面の観察が可能であり、第4トレーニングでは中世耕作溝が部分的に検出された。

耕作溝は条里型地割に沿ったものである。溝幅は約25cm、深さは10cm未満、埋土は黄灰色砂質土である。この溝に伴う時期の遺物として瓦器、土師器等の破片が少量ではあるが出土した。



2009-08 (泉大津市板原町1丁目217-1、218
平成21年6月9日調査 調査面積25m²)

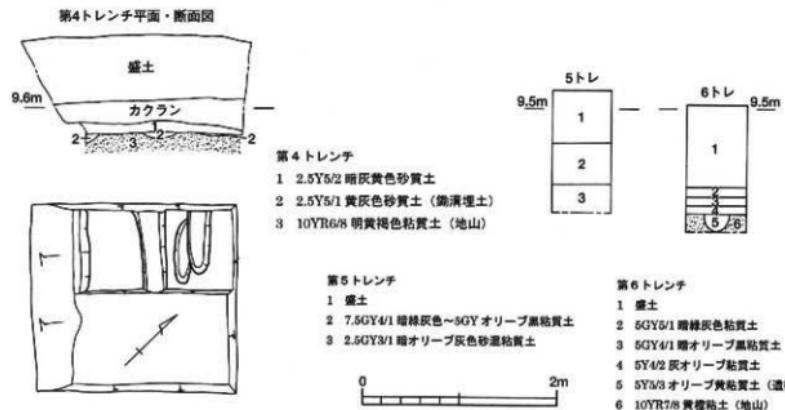
共同住宅建設に伴う調査である。虫取遺跡の南端部に位置する。3箇所にトレーニングを設定した。

第1トレーニング（幅2.2m、長さ5m）では地表下35cmで中世包含層（黄褐色砂質土）が厚さ20cmで堆積し、深さ約70cmで地山（明黄褐色粘土）となる。地山面上で東西方向の自然流路跡が認められたが、遺物の出土がないため時期は不明である。

第2トレーニング（幅2m、長さ3.5m）においても地表下25cmで厚さ15cmの中世包含層が確認された。それより下位は地山となり、遺構等は認められない。なお土層断面の観察から東から西へ向かい地形が傾斜することが確認できた。



第4トレーニング鉢溝



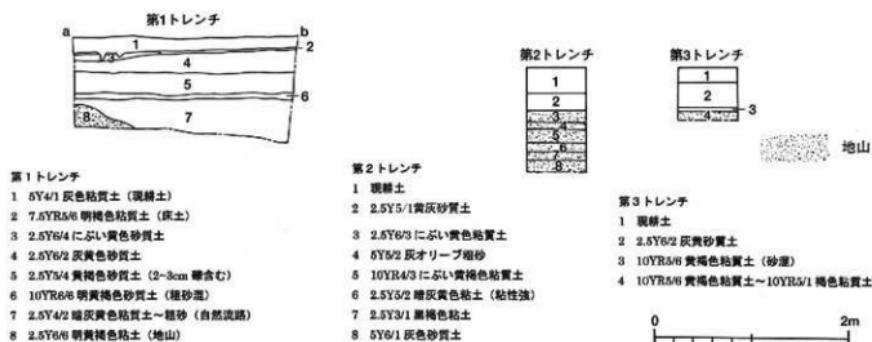
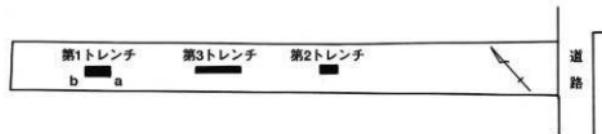
第8図 2009-07 トレーニング位置 (1/1600)・造構平面・土層断面・柱状図 (1/50)

第3トレンチ（幅1m、長さ7m）では、地表下15cmで中世包含層が厚さ25cmで堆積する。その下位に包含層等はなく遺構も認められない。

いざれのトレンチでも中世包含層が確認されたが、遺構等は認められなかった。加えて中世包含層より下層は、水性堆積を示す状況が観察され、現在でも湧水が激しい。居住地には適さない地であったことが推察される。



第1トレンチ



第9図 2009-08 トレンチ位置 (1/800)・土層断面・柱状図 (1/50)



市内遠望写真（南東、豊中遺跡方面）

3. 板原遺跡

板原遺跡は、板原町を中心とし、東南部は和泉市肥子町に広がる。国道26号の整備に伴う調査により、縄文時代の流路や鎌倉時代の掘立柱建物などが確認されている。本年度は、1件の調査を実施した。

2009-09 (泉大津市板原町4丁目1211 平成21年7月15日調査 調査面積7.9m²)

店舗建設に伴う調査である。板原遺跡の西寄りにあたる地である。2箇所にトレンチを設定した。南側の第1トレンチ（幅1.7m、長さ2.0m）では、現耕作土の下に近年の土地区画整理時の整地土が残り、その下位には黄褐色シルト層が一様に堆積する状況が見られた。これを地山と判断するところであったが、土質が鈍く変化する地表下約90cmの最下層でトレンチ壁面に遺物が発見された。遺物片は非常に脆く縄文時代の土器と見られる。板原遺跡に知られる縄文時代の痕跡の一端を示す可能性があろう。

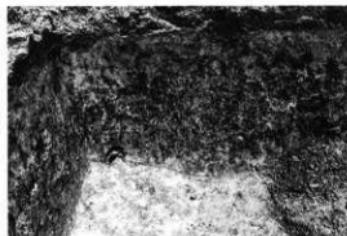
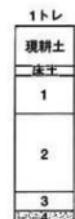
第2トレンチ（幅1.5m、長さ3.0m）においても同様に黄褐色シルト層の堆積が見られたが、遺物や遺構等は認められなかった。

4. 池浦遺跡

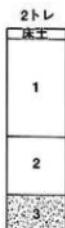
池浦遺跡は、弥生時代前期中段階に始まり、泉州で最も古い弥生集落として知られる。池上曾根遺跡との関わりを考察する上で重要な遺跡であるが、近年は、平成9年度に朝鮮系無文土器の体部を検出したのみで、確認調査にとどまる事が多い。今年度は3件の調査を実施した。いずれも宅地造成に先立つ調査で、敷地内の道路への埋設管箇所を調査したが、遺構、遺物の検出には至らなかった。

2009-10 (泉大津市池浦町4丁目173-16・17、188-5、223-1・3・5・8・9 平成21年8月5日調査 調査面積9m²)

宅地造成に伴う調査である。池浦遺跡の南西にある。幅0.9m、長さ10mのトレンチを設定した。現況の畑の耕作土以下には旧耕土の他、中世以前に堆積したと思われる、流れ堆積を示す灰黄褐色砂等が見られるが、明確な遺構等は認められなかった。



第1トレンチ



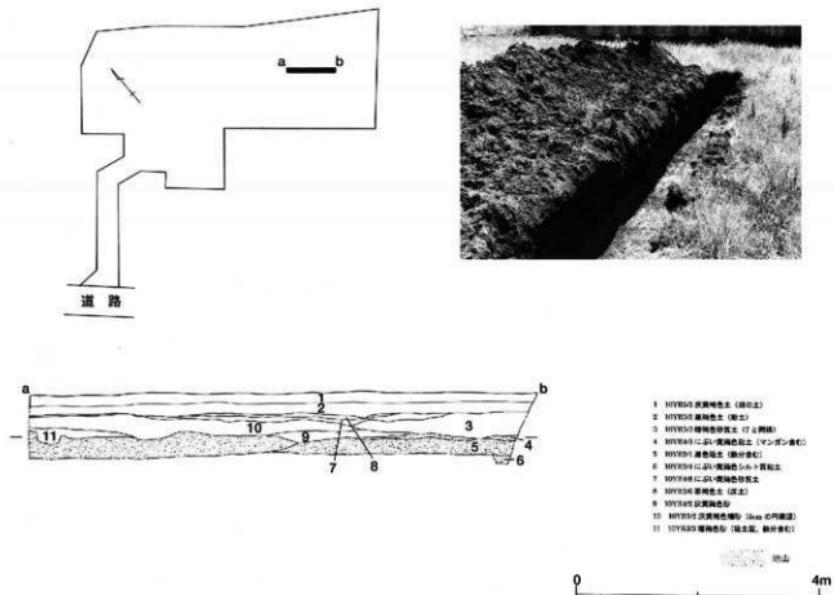
第1トレンチ

- 1 10YR5/3 にぶい黄褐色粘質土
- 2 10YR5/8 黄褐色粘質土（粘性強、小礫含）
- 3 10YR5/8 黄褐色シルト
- 4 2.5Y7/1 灰白砂質土（シルト質）

第2トレンチ

- 1 10YR6/4 にぶい黄褐色粘質土
- 2 10YR7/2 にぶい黄褐色粘土（1が重じる）
- 3 10YR5/6 黄褐色粘質土（粘性強）

第10図 2009-09 トレンチ位置 (1/800) ・ 土層断面・柱状図 (1/25)

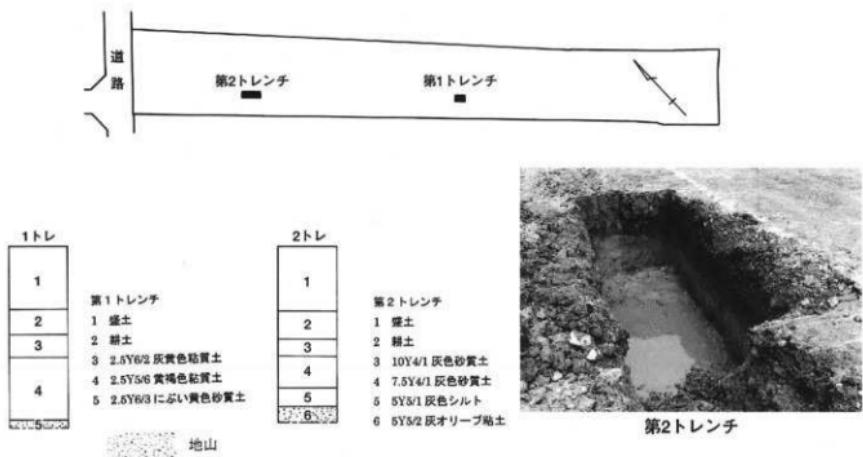


第11図 2009-10 トレンチ位置 (1/1000)・土層断面図 (1/80)

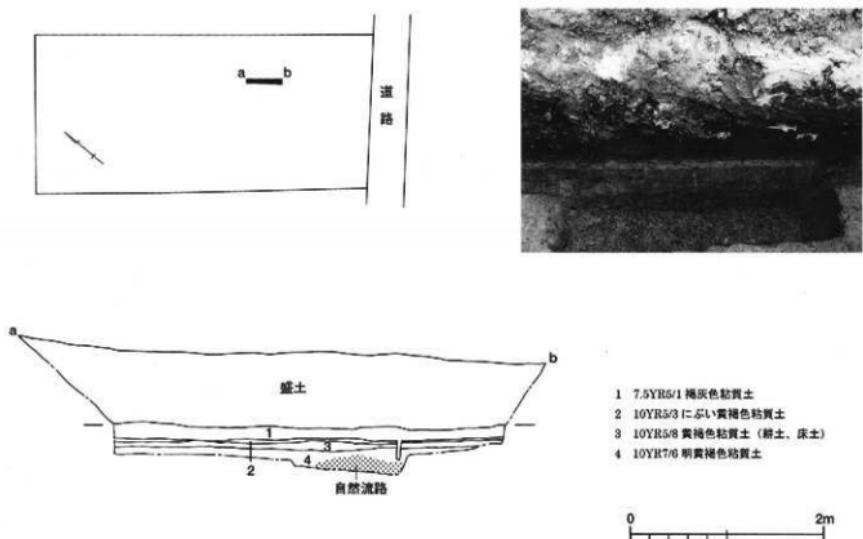
2009-11 (東大津市寿町56-1の一部、57の一部、58-1の一部 平成21年8月7日調査 調査面積 4.6m²)
宅地造成に伴う調査である。池浦遺跡の北西にあたる。2箇所にトレンチを設定した。第1トレンチ(幅1.1m、長さ1.5m)、第2トレンチ(幅1.1m、長さ2.7m)のいずれにおいても現地表下約30cmまでは盛土がなされている。その下層は、第1トレンチでは黄色系粘質土、第2トレンチでは灰色砂質土の水田耕作による堆積土が続き、地山に至っている。遺構や包含層等は認められなかった。

2009-12 (東大津市下条町122-3、123-1、124-1の一部、124-2 平成21年9月18日調査 調査面積3.9m²)

宅地造成に伴う調査である。池浦遺跡の北寄りに位置する。幅0.7m、長さ5.5mのトレンチを設定した。比較的厚い盛土の下に、地表下75cmで旧耕作土があり、以下概ね10cmの厚さで近世以降の耕作土、中世の耕作土が残る。約1.2mの深さを掘削したが、地山には至らず、部分的に自然流路跡の層を断面観察により確認した。遺構や遺物の出土は見られなかった。



第12図 2009-11 トレンチ位置 (1/600)・土層柱状図 (1/25)



第13図 2009-12 トレンチ位置 (1/800)・土層断面図 (1/50)

5. 豊中遺跡

豊中遺跡は、本市東部に位置し、東西0.6km、南北1.2kmの広がりを持つ。遺跡中心を南北に国道26号が走行し、遺跡の東部から南部は和泉市域に至る。国道26号周辺からは古墳時代・泉大津中央線周辺からは平安～中世の集落が確認されている。本年度は、2件の調査を実施したが、いずれも遺構・遺物の検出には至らなかった。

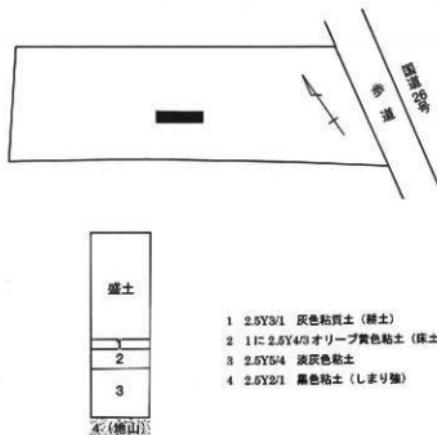
2009-13 (北豊中町2丁目889-1 平成21年11月18日調査 調査面積4.3m²)

共同住宅建設に伴う調査である。豊中遺跡の北寄りに位置し、国道26号を東に面する。幅0.9m、長さ4.8mのトレンチを設定し、深さ1.9mまで掘削を行った。現地表下1.1mまでは盛土がなされ、その下に旧耕作土が残っていた。旧耕作土以下には水性堆積を示す粘土層が続き、1.9mで黒色粘土の地山を確認したが、遺構や遺物等の出土はなかった。

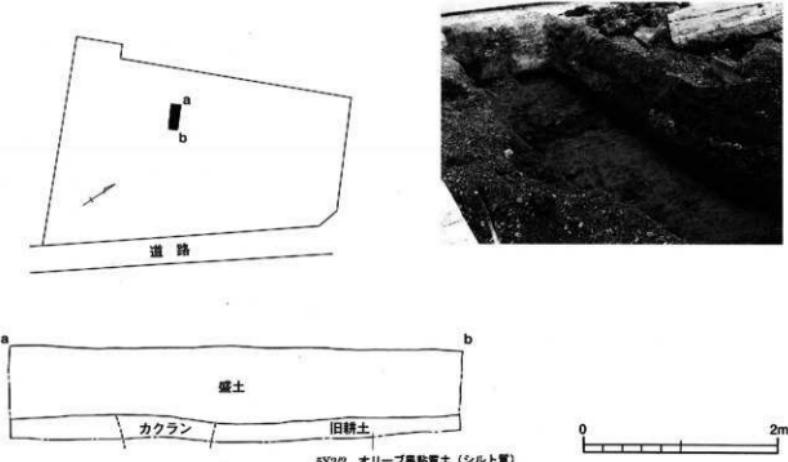
北側には池上曾根遺跡が近接するが、この一帯は両遺跡間に谷地形にあたることが、今回の調査でも伺えた。

2009-14 (東豊中町2丁目9-19 平成21年12月17日調査 調査面積8.3m²)

ガス業用建築物建設に伴う調査である。豊中遺跡の東寄りに位置する。幅1.8m、長さ4.6mのトレンチを設定し、約90cmの深さで掘削を行った。現地表下約70cmで旧耕作土が残るが、明確な遺構は認められなかった。開発深度は88cmのため、旧耕作土以下は未確認である。



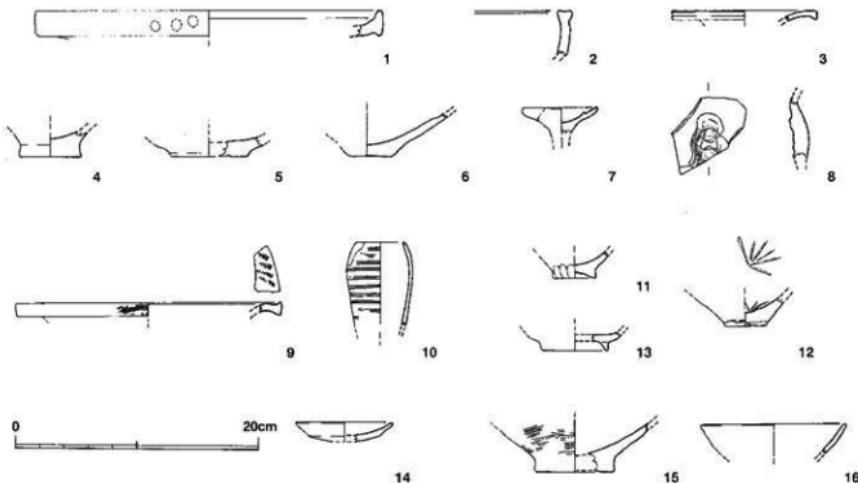
第14図 2009-13 トレンチ位置 (1/500) ・ 土層柱状図 (1/50)



第15図 2009-14 トレンチ位置 (1/800)・土層断面図 (1/50)

参考文献

- 泉大津市教育委員会 2006 「泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報24」（泉大津市文化財調査報告40）
- 泉大津市教育委員会 2009 「泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報27」（泉大津市文化財調査報告43）
- 泉大津市教育委員会 2010 「都市計画道路南海中央線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報」
（泉大津市文化財調査報告45）
- 中世土器研究会 1995 「概説 中世の土器・陶磁器」真陽社

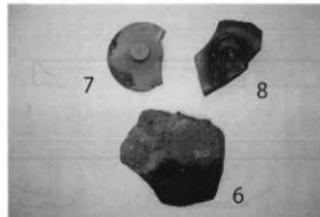
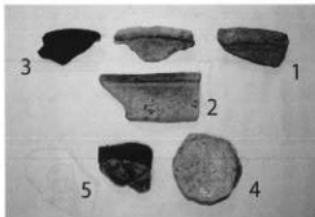


第16図 出土遺物実測図 (1/4) 2009-01 (1~8)、2009-03 (9・10)、2009-05 (11~13)、2009-07 (14)、
2009-08 (15・16)

遺物観察表

番号	器種	法量(復元口径or底径/残存高)cm	胎土/焼成/色調	特徴	出土位置
1	弥生土器・壺・口縁部	28.1/2.1	やや粗/良/粉(外)灰白(内)	口縁端部外面に円形浮文剥離痕	2009-01 1トレ
2	弥生土器・壺・口縁部	30.4/3.6	密/良/灰白(内・外)	ヨコナデ調整・スス付着	2009-01 1トレ
3	弥生土器・壺・口縁部	6.0/1.0	密/不明/黒	土器が炭化している	2009-01 1トレ
4	弥生土器・底部	5.0/2.1	やや粗/良/にぶい黄褐色(外)灰白(内)		2009-01 1トレ
5	弥生土器・底部	6.4/1.6	やや粗/良/オリーブ黒(内・外)	器底に紫脲痕	2009-01 1トレ
6	弥生土器・底部	3.6/3.3	密/良/粉(外)灰白(内)	外面上に黒斑あり	2009-01 1トレ
7	陶器・灯明裏	6.0/2.5	密/良/浅黄橙(内・外) 粉(釉)	回転ナデ調整・内面に拂粧施す	2009-01 1トレ
8	瓦製品	5.2(幅)/5.5(横)	密/良/灰(内・外)	大黒天を型抜きする	2009-01 1トレ
9	弥生土器・壺・口縁部	21.8/1.2	やや粗/良/灰白(内・外)	II縁端部外面に波状文、内面に崩形文	2009-03 2トレ
10	弥生土器・長頸壺 ・口縁～体部	4.0/6.9	密/良/にぶい褐色(外) 褐灰(内)	外面に4条で1単位の直線文・牛跡西葉透胎土	2009-03 2トレ
11	弥生土器・底部	2.6/2.3	密/良/灰白(外)粉(内)		2009-05 2トレ
12	弥生土器・底部	3.2/2.0	密/良/灰白(内・外)	底部内面にヘラ工具痕	2009-05 1トレ
13	瓦器・碗・底部	6.6/1.5	密/良/灰(内・外)		2009-05 1トレ
14	瓦器・小皿	7.0/1.7	密/良/灰(内・外)		2009-07 5トレ
15	弥生土器・底部	6.2/3.0	密/良/灰白(外)暗灰(内)	外面タキ調整	2009-08 1トレ
16	瓦器・碗・口縁～体部	12.1/2.1	密/良/黒(外)灰白(内)		2009-08 3トレ

出土遺物寫真



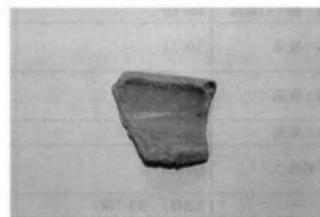
2009-01



2009-03



2009-05



2009-07



2009-08

発掘調査概報抄録

ふりがな	いすみねねつしまいそうなんかざはくくつちようをがいはう
書名	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報
副書名	
巻次	28
シリーズ名	泉大津市文化財調査報告
シリーズ番号	44
編著者名	虎間 麻実 上江 文子
編集機関	泉大津市教育委員会
所在地	〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号
発行年月日	西暦 2010年3月31日

調査区域 上曾根跡 池邊 虫取道跡	ふりがな 所 在 地	コ ード 市町村 道路番号	北 緯	東 経	調査期間	調査対象面積 (m ²)	調査原因	
							調査番号	
	大阪府泉大津市豊中町894 調査番号2009-01	272060		34度 30分 5秒	135度 25分 37秒	20090223	2135.18	宅地造成工事に伴う事前調査
	大阪府泉大津市曾根町1丁目138、139各一部 調査番号2009-05	272060		34度 30分 15秒	135度 25分 34秒	20090520	2033.11	宅地造成工事に伴う事前調査
	大阪府泉大津市森町1丁目、2丁目、東助松町2丁目地内 調査番号2009-06	272060		34度 30分 25~45秒	135度 25分 26秒	20090527	16000	都市計画道路建設に伴う事前調査
	大阪府泉大津市曾根町1丁目98-1、99-1、100-1、402-8 調査番号2009-15	272060		34度 30分 13秒	135度 25分 42秒	20091224	1228	鉄骨平照店舗建設に伴う事前調査
	大阪府泉大津市池浦町1丁目30-9 調査番号2009-02	272060		34度 29分 48秒	135度 24分 53秒	20090319	142.15	鉄筋3階建共同住宅建設に伴う事前調査
	大阪府泉大津市池浦町1丁目262、263-1 調査番号2009-03	272060		34度 29分 47秒	135度 24分 52秒	20090428 20090430	2742.34	宅地造成工事に伴う事前調査
	大阪府泉大津市虫取町1丁目4-16から池浦町1丁目22-26 調査番号2009-04	272060		34度 29分 47秒	135度 24分 52秒	20090508 20090509	88.7	ガス管理設に伴う事前調査
	大阪府泉大津市市孫子2丁目33、34、37-3、227、228、229、234-1、428-2及び水路 調査番号2009-07	272060		34度 29分 33秒	135度 24分 56秒	20090602	6806.42	宅地造成工事に伴う事前調査
	大阪府泉大津市板原町1丁目217-1、218 調査番号2009-08	272060		34度 29分 20秒	135度 24分 42秒	20090609	1124.15	鉄筋3階建共同住宅建設に伴う事前調査

所 収 遺 跡	所 在 地	コ 一 下 市町村 遺跡番号	北 緯	東 緯	調査期間	調査対象面積 m ²	調 査 原 因
板原遺跡	大阪府泉大津市板原町4丁目1211 調査番号2009-09	272060	34度 29分 13秒	135度 25分 7秒	20090715	904.93	鉄骨平屋建店舗建設に伴う事前調査
池浦遺跡	大阪府泉大津市池浦町4丁目173-16、 173-17、118-5、223-1、 223-3、223-5、223-8、 223-9 調査番号2009-10	272060	34度 30分 1秒	135度 25分 1秒	20090805	1636.66	宅地造成工事に伴う事前調査
	大阪府泉大津市東町56-1の一部、57の 一部、58-1の一部 調査番号2009-11	272060	34度 30分 1秒	135度 25分 1秒	20090807	938.3	宅地造成工事に伴う事前調査
	大阪府泉大津市下条町122-3、123-1、124- 1の一部、124-2 調査番号2009-12	272060	34度 30分 1秒	135度 25分 1秒	20090918	1213.5	宅地造成工事に伴う事前調査
豊中遺跡	大阪府泉大津市北畠中町2丁目889-1 調査番号2009-13	272060	34度 29分 50秒	135度 25分 31秒	20091118	421.64	鉄骨平屋建共同住宅建設に伴う事前調査
	大阪府泉大津市東豊中町2丁目9-19 調査番号2009-14	272060	34度 29分 35秒	135度 25分 31秒	20091217	1955.9	鉄筋平屋建ガス業用建築物建設に伴う事前調査

所 収 遺 跡 名	種 别	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項
池上曾根遺跡	集 落 跡	2009-01	弥生	なし	弥生土器
		2009-05	古墳	なし	弥生土器、土師器、須恵器
		2009-06	奈良	なし	弥生土器、土師器、須恵器、瓦質土器
		2009-15	平安 中世	中世溝、柱穴	古式土師器、須恵器、土師器、瓦器
東取遺跡	集 落 跡	2009-02	弥生	なし	なし
		2009-03	古墳	自然流路	弥生土器
		2009-04	中世	なし	なし
		2009-07		なし	土師器、須恵器、瓦器
		2009-08		なし	土師器、須恵器、瓦器
板原遺跡	集 落 跡 生 家 遺 跡	2009-09	縦文 古墳 中世 近世	なし	縦文土器片
池浦遺跡	集 落 跡	2009-10	弥生	なし	土師器
		2009-11	古墳	なし	土師器、須恵器
		2009-12		なし	なし
豊中遺跡	集 落 跡	2009-13	縦文 弥生 古墳 奈良 平安 中世	なし	なし
		2009-14		なし	土師器

泉大津市文化財調査報告44

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報28

2010年3月31日

編集・発行 泉大津市教育委員会
生涯学習課
〒595-8686 泉大津市東雲町9番12号
TEL 0725-33-1131(代)
印刷 和泉出版印刷株式会社

